



# 高崎高校同窓会報

2009

第43号

平成21年11月30日

## 特集／翠巒学芸—学芸部の今



GRAFH FILE



第63回定期戦



高高同窓会報 No.43 目次

あいさつ ..... 同窓会会長 原浩一郎 3

ごあいさつ ..... 学校長 藤倉新一 4

医系志望者は減少するのか ..... 同窓会副会長 佐藤和徳 4

特別寄稿1

追想・昭和十六年の頃 ..... 40期 志村 甲子郎 5

蛋・平和・世界遺産 ..... 50期 石原 征明 6

アジア経済人大賞受賞祝賀会 ..... 60期 吉川 廣和 7

今も泳いでいます ..... 70期 永尾 俊弘 8

「全校マラソン」の思い出 ..... 90期 清水 敬浩 9

特集

● 翠碧学芸—学芸部の今 ..... 10 11

特別寄稿2

「追想」音楽センターと井上房一郎翁とのこと ..... 59期 小池 利明 12

同窓会だより

旧高中三八会を終了して—纏めの記 ..... 38期 石田 文次 13

高高のグラウンドにて ..... 61期 近藤 富男 13

関西翠碧会 ..... 44期 糸田 博史 14

同窓会本部から ..... 14 15

● 卒業生の作品紹介 (25) ..... 66期 矢野間 隆 15

● 翠碧文庫 ..... 15 15

● 表彰・叙勲者紹介 ..... 15 15

母校だより

各部の活躍・活動 ..... 16 17 18

第63回定期戦 ..... 19 19

最近の進学状況 ..... 19 19

人事異動 ..... 19 19

同窓会会計報告、新年総会案内、編集後記 ..... 20 20



いあいざり

同窓会会長 原 浩一郎

早いもので今年も残すところあとわずかなり、母校高崎高校の窓からは、冴え渡る空気の、「秀麗榛名」の峰がその稜線をひときわ際立たせております。

皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。毎年のことながら、様々な機会に各界における同窓生の活躍を見聞することが多いのですが、同窓会といたしましても、誠に心強く、ご同慶の至りであります。

本年は役員改選の年にあたり、1月の第107回新年総会では私をはじめすべての役員が留任をご承認いただきました。これまでつつがなく本会を運営できましたのも、同窓諸兄の皆様方のご支援ご協力のおかげと、厚く御礼申し上げます。

かねてより若い世代の同窓生の本会への参加を期待しておりましたが、理事会においては、90期代の方々の出席も見られました。今後さらにその数が増え、本会に新風を吹き込んでくれることを改めて期待するとともに、これからも本会の幅広い世代での活動を進めてまいり所存であります。

さて、今年も後輩たちの活躍や母校の躍進につきましましては、皆様方も地域や職場など、様々な場面で耳にされたかと存じます。昨年度の進学実績はもちろん、陸上競技部やソフトテニス部、軟式野球部の関東大会出場など、「文武両道」の精神が脈々と受け継がれておりますことは、私も同窓の一員として、甚だ喜ばしく、また誇らしく感じるものでございます。

今、世の中は、政権交代で大きく変わっていかうとされています。経済面で明るい兆しはつきりと感じられない中、新しい政治によってこれからの日本が元気になること、これを期待する反面、難しい問題が多数山積している点については、不安も感ぜずにはられません。

わが高崎高校は一一一年の歴史と伝統のもと、社会の各方面にて活躍する人材を多数輩出してまいりました。現在本校で学ぶ後輩諸君も、いずれは地域・国家の発展に寄与する有為な存在となっていくと存じます。毎年の学校行事である「創立記念講演会」や、一年次の「社会人講師授業」、二年次の「企業・研究所・大学訪問研修」などの行事を通じ、後輩

諸君はトップクラスの研究者や技術者と交流し、先端技術と出会い、将来の自らのあるべき姿を探ってまいります。一方で、毎年開催されている翠巒祭や、今年見事に四連覇を達成した定期戦などの行事、そして部活動や生徒会活動などによって、高校生活のあらゆる場面で「文武両道」を通して人間力の向上を目指しております。

これからの日本を担う後輩諸君のそのような様々な取り組みに対し、我々同窓生がわずかでも力添えができればと考えております。そのためにも、本会はその活動をより一層充実したものと、母校の発展のために惜しみない支援を行なってまいりたいと考えております。

会員の皆様におかれましても、本会の活動に対しまして、倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後、ご健康にはくれぐれも留意されて、益々ご活躍されることをご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

(原代表取締役会長)

(株)ぐんべい代表取締役会長 56期)



いあいとし

学校長 藤倉 新一

学校というところ、毎年毎年いろんなことが起こります。今年度はゴールデンウィーク明けからメキシコ発の新型インフルエンザの世界的流行を受け、諸行事への対応に追われました。本校への影響も大きく、例えばスーパースサイエンスの二年生が例年参加していた県教委主催のNASA等海外派遣研修の中止、関連して本校独自実施のヒューマンサイエンスの海外研修の中止など、楽しみにしていた生徒達には何とも可哀な結果となりました。

また、六月には恒例の翠鬱祭が開催されましたが、開催二日目の未明に合宿中の一年生の実行委員がひき逃げ事故に遭うという残念な出来事も起こりました。新聞、テレビ等で大きく報道され、たくさんの方からご心配をいただきました。当該生徒はその後二学期から学校に復帰し、リハビリの継続とともに元気に学校生活を続けています。

運動部活動面では、春の高校総体において昨年の屈辱の総合十位から五位へと大きく前進しましたが、まだここは本校の位置ではないと思っております。今後の頑張りを期待しているところです。また今年六十三回目を迎えた前橋高校との定期戦ではこれまでの三連勝を更に伸ばして四連勝とすることができました。私個人としては赴任以来負けなしてきていますが、

来年本校を会場に行われる第六十四回が自分にとって本校での最後の定期戦となります。こうなったらもう一つ勝って卒業したいものだと思いが出てしまいます。「生徒時代勝ちなし、校長時代負けなし」というのも面白いかもしれません。

さて、話は変わりますが、今年後半に、同窓会の肝いりで校歌、応援歌等を収録したCDを作成しました。これまでも校歌入りレコードやカセットを作成、配布してきたことはありましたが、今回はCDの情報量の多さを生かして旧校歌や生徒会の歌、クラス会の歌を加え、しかも吹奏楽部、合唱部、ギターマンドリン部の現役・OB総動員での収録と盛りだくさんの内容になっています（ちなみに不肖私も校歌を一曲指揮させてもらっています）。十分な時間をとれない中で収録ということもあり、完璧な演奏とは言えないかもしれませんが、演奏に当たった方々の熱い思いや脈々と流れる翠鬱魂は十分感じ取っていただけのものができたと思っております。是非御一聴いただきたいと思っております。

最後になります。同窓諸氏の益々のご発展ご活躍をお祈りするとともに、今後とも母高の更なる発展のためご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。あさつといたします。



医系志望者は減少するのか

同窓会副会長 佐藤 和徳

平成21年3月の卒業生の進路状況では、東京大などの現役入学者が、県内他校と比べて格段に多い結果であった。

サイエンススクールの為か、理系進学者も多かった様であるが、何故か医系志願者が少なくなったと伺っている。

一人前の医師になるには、35歳過ぎまでに後期研修医を終了し、専門医の認定試験に合格しなければならぬ。もちろん、その前に国家試験の合格が必須で、低所得時には親のスネかじりを続けざるを得ない。それからの勤務医時代は、過重労働で時間の余裕が持てない事が知れ渡り、若者に敬遠されていくのではないか。

在学中も卒業後も学業に追われることも、モンスターペーシエントと呼ばれるクレイマーや、医療に満足感を持たない人が多いのも確

かである。しかし、この仕事は求職難、リストラとは無縁で、生涯現役を続けることが出来る。

WHO世界一の医療を対GDP比世界21位の医療費で提供という費用対効果を誇る日本の医療に参画し、何よりも他人の手助けになり、支えになる生き方が生涯可能である医療に挑戦してほしい。

医療改革が医療経済と医療事故を重視しすぎて、医療が医術と医学の上に成立することを等閑視しすぎたのかも知れません。高々卒業生が、病める人を全面的に受容する臨床医、又は基礎医学者を目指すことを望んでやまない。

（博仁会第一病院理事長 57期）



特別寄稿

# 追想・昭和十六年の頃

志村 甲子郎

昭和十六年は私個人にとっても、また日本国―当時は大日本帝国といつて勇ましかったが―にとつても大変な年であった。私は群馬県立高崎中学校を卒業して東京へ、何しろ西も東も判らなかつたのだから、電車の乗り方も知らない上州の山猿が一と月、二た月とたつとすっかり順応して、新宿、渋谷そして銀座は歌舞伎座と下駄をはいて闊歩ならぬ右往左往してしてたものだった。私が入学したのは、東京物理学校（現東京理科大学）で入学者選考はユニークというか一風変わったものであった。希望者は願書を持って当日並べば受付順に人数だけ合格できた。しかし授業はきびしくて、各教科五十点以上で平均点六十点以上でないことと落第（留年）、同一学年三年落第すると退学ということ、落第学校として有名だった。一年生の授業と年二回の試験が入学試験であった。中には三年つづけて落第して、年度はまた願書を出しなしておして一年生というような学生もいた。また一年を二回、二年生を二回と裏と表をつけて進級して来た人もいた。その人たちがどうなったか

は知らない。一見暢気そうな生活も大東亜戦争という戦争がそれを許さなかつた。願書の受付順は廃止、内申書の成績による選考となり、受付順という画期的な方法は終りを告げた。

また、この頃は中学校以上の学校では「教練」の時間というのがあった。配属将校という陸軍の将校が各中等学校に配置されて、肩で風を切っていたものだった。中等学校では中尉クラス、大学では大佐クラスであった。「教練」を休むものは卒業を認めない「学生達を畏怖させたものだった。その成績評価は「士官適」「下士官適」とあきれるようなものだった。しかし多くの学生は士官適のおかげで、小尉、中尉に任官させられ、南方の最前線で戦死という憂き目にあつた。

さて、昭和十六年十二月八日朝のラジオが突然、あらぬことを喋りだしたのであった。アナウンサーの声も少しうわづっているように思えた。

「帝国陸海軍は米英と戦争状態に入れり。」大本営発表である。そして軍艦マーチと勇ましい。多

くの国民はその勇ましさに度肝を抜かれ「やったあ」と快哉を叫んだものであった。しかしこの発表が「大日本帝国」から「日本国」へと変ぼうを遂げる大きな変換点であつたといえよう。その日の朝、私は新宿駅前の雑踏のなかにいた。どうして新宿か全然記憶にないが、今の三越の前とか横とかいうか電気屋があつて、黒山の人だかり、「大本営発表」「宣戦布告」など矢つぎ早やに読みあげている。一般の大衆は紅調した面持ちで「よしがんばるぞ。」とか「国のためだ。」とかわめいてる。黙して立ち去っていく人も多かつた。連戦連勝のはずの連合艦隊は大敗、空母「赤城」は見るも無残な姿で大湊にということには後に聞いた。精鋭関東軍は南方にまわつて空っぽ、原爆二発で無条件という条件で降伏、名も終戦と変わつてゐる。

今、人生の落日に立つて見ると、高崎中学の生徒の時代、学生の時代、富岡高校教諭の時代、高崎高校教諭の時代と人生の大半は高崎高校と遇つて来た自分を大変幸福と感謝している。

（元 高崎高校教諭 40期）



特別寄稿

# 蚕・平和・世界遺産

石原 征明

三題咄をしてみよう。蚕・平和・世界遺産、一見関係ないような感じがするがそうではないのである。

高高へ通っている頃、通学路の周りに広がる畑は桑に覆われていた。キラキラ光る桑の葉はまぶしく、赤紫に実ったドドメは食欲をそそった。農家は沢山の蚕を飼い、桑畑の上から白衣の姿を見せる観音様や遠くに霞む榛名山は美しくあった。県下いたるところに桑の海が広がっていて蚕が飼われ、製糸工場や織物工場が煙を上げていた。しかし今、まったくその風景は見られない。

群馬は繭と生糸の国である。養蚕農家が激減し生糸生産が僅かになったとはいえ、群馬は日本一のシルクカントリーである。繭や生糸の品質は世界最上級で、蚕の遺伝子(DNA)は世界最高のものを持っている。

横浜開港以来、生糸は輸出の花形となって多くの外貨を獲得した。外貨は日本の近代化を推し進める資本となり、日本の産業革命に大きな役割を果たした。少年時代、私どもは群馬の、いや日本の基幹産業を担っていた所を通じて学校

へ通っていたのである。

現在、富岡製糸場などを中心にして、世界遺産をめざす運動が展開されている。明治の初め、政府は殖産興業のために官営模範工場をつくった。群馬には富岡製糸場と新町絹糸紡績所の二か所が設立された。両方とも生糸に関係した重要な工場であった。

繭からとれる一本の生糸は、良い部分もあれば悪い部分もある。真ん中の部分が良い部分であり、初めと終わりの部分はあまり良くない。製糸の過程でも屑糸ができる。また、繭も良いものもあれば悪いものもある。富岡製糸場は、良い繭の良い部分から良い生糸をとる模範工場であった。新町の紡績所は、そのままでは良い糸になりにくい「屑糸」を、紡いで精良な絹糸にする工場であり、資源を無駄なく活用する「優れもの」であった。富岡製糸場が金閣だとすれば、新町の紡績所は銀閣に匹敵する。資源の活用という面から考えると、新町の紡績所はむしろ金閣であるかもしれない。平成の市町村合併によって新町は高崎市となった。市内に世界遺産になる可能性のある場所があるのは素晴らしい。

世界遺産の保存は、一九七二年のユネスコ総会で採択された「世界遺産条約」で決められた。人類の宝を世界の遺産として保存することにしたのである。もう一つのねらいは、世界の平和を守ることであった。

平和を守るといふ観点から考えると、蚕(家蚕)はまことに平和な昆虫である。平和の象徴のような気持ちさえする。蚕棚などで密集して飼われているが、飼の桑葉をめぐって喧嘩するようなことはなく、共食いなどの殺し合いは絶対しない。困いがないうちに飼われているが逃げることがはない。繭をつくる時には仲良く二匹で一緒になつて一つの繭をつくることさえある。こうした平和な昆虫が飼われていた養蚕製糸地帯に私どもは学んでいたのである。その意義を深く考え、世界遺産登録のために行動しなければならぬ。

今、シルク・ルネッサンスということがいわれている。絹産業を盛んにし、平和の象徴として群馬からぜひ世界遺産を登録したいものである。

(前橋国際大学名誉教授 50期)

特別寄稿

# アジア経済人大賞受賞祝賀会

吉川 廣和

昨今は思わぬ幸運に恵まれた年でした。一つは、2月の毎日経済人賞です。これは新聞社のなかで唯一毎日新聞社が設けている伝統ある賞で、毎年1、2名の経済人が表彰されています。私は第28回の受賞で、東芝の西田社長と一緒にしました。表彰式は約3百人の招待客の中で行われ、高々同期生3人も出席してくれました。もう一つは、11月のアジア経済人大賞 (Asia Leaders Award)。6月に突然米国TV・CNBCから「候補者になった」との通知が届き、その後は書類審査、面接、会社調査、ビデオ撮りによる最終審査と大変忙しなものでした。幸いにもトップ賞の大賞受賞、しかも日本人初ということもあって、TVやインターネット用のインタビューに追われました。世界84ヶ国に配信され、アジアでは約1ヶ月連日経済報道で取りあげられたとのこと、日本でも何度かBS TVで特集が組まれました。

余談ですが、授賞式ではバンコクにおいて4百人程の招待客の下で開かれ、その方式がアカデミー賞のように当日の会場で初めて発表されて、真暗な中で一人スポットライトを浴びて登場する、という劇的なものになるはずでした。しかし残念なことに、私が入国した数時間後に空港閉鎖され、混乱のもとで式は中止となってしまいました。先日改めて前年度受賞者として招かれシンガポールにおいてスピーチの機会を与えられました。私自身両賞とも全く念頭になく、その存在すら知らなかったので、率直に驚きの連続でした。

この話を聞きつけた高々同期生が仲間に声をかけて祝賀会を企画してくれました。4月高崎メトロポリタンHで、40人近くの同期生 (参加できず祝福のみの方も含めて60人余り) の参加をいただいて盛大に開かれました。横浜、東京からわざわざ駆けつけてくれた方もおり、旧交を温める会話に花が咲きました。会はおきまりの校歌・翠巒で幕を閉じても多くの方が2次会へと繰り出し、さすがに冷静だった私も、その日は心から感激に浸りました。本当に同期生とはありがたいものです。只、ただ感謝！。念願の、高崎に庵を、の計画が来春実現の予定です。

(DOWAホールディングス㈱  
会長・CEO 60期)



特別寄稿

# 今も泳いでいます

永尾 俊弘



高崎高校入学と同時に、何を誤解したのか水泳部に入部しました。以来、早く泳ぐことめざし、今でも速く泳ぐことをめざしております。

高々入学以前に運動部の経験はなく、高校一年のときに経験した水泳部の寒くて辛い練習や厳しかった合宿のことが、今でも思い出されます。当時、泳ぎ終えてプールの中からプールサイドを見上げると、三年生や合宿の時に来られる先輩の顔が鬼の顔に見えました。高校で初めて競泳（早く泳ぐ）を始めたせいもあり、高校3年間はたいした記録を残せませんでした。そんな私ですが、一度始めたことは最後までやりとうそうと思いい、高々を卒業するまでなんとか水泳を続けました。

群馬大学医学部入学後も、全学の水泳部に所属させていただきました。6年間水泳を続けました。続けられたのも、高々3年間の厳しく辛い練習のおかげと思っております。当時の最大の思い出は、2年生の時、国公立関東甲信越水泳大会の100m平泳ぎで優勝したことです。医学部の学生が全学の大会で優勝することは、たいへんな快挙でした。

医者になってからは忙しさに追

われ、またいわゆるローテーションで県内を転々とし、ずっと水泳から離れておりました。40歳になった時に高崎に戻り、長男が高崎イトマン（現高崎スウィン）に入ったのをきっかけに、水泳を再開しました。学生の時とは違い、筋肉も落ち、腹も出て、体重も10kg増加しており、たいして早く泳ぐことはできないと思っております。高崎イトマンのコーチからマスターズ水泳大会に参加しないかと誘われ、さすがにもう100m・200mを全力で泳ぐことはできませんので、40〜44歳代の50m平泳ぎ・25m平泳ぎで参加させていただけました。50m平泳ぎが学生時代はベストタイムが35秒台だったのに、37秒台の2秒落ち、25m平泳ぎが学生時代と同じ16秒台で泳げました。これには私自身驚き、また早く泳ぐことを目標に再び練習を始めました。

高々卒業後40年、現在57歳となりましたが、今でも早く泳ぐことを目標に練習を続けております。さすがに記録は少し落ち50m平泳ぎは38秒台となつてしまいましたが、25m平泳ぎは16秒台を維持しております。

競泳と水着の問題については、北京オリンピック以来ひろく耳目

が集まり、同窓諸氏もご存知だと思えます。今年8月23日の群馬県民大会に、高崎市代表として参加した時まさかとは思っておりますが、50歳代以上の種目でも、新型水着を着た選手が多数いるのです。さらに新型水着を着た選手が、大会新記録で優勝するのです。いちはん驚いたのは、50m平泳ぎで、私より2歳年上の沼田市代表の方が新型水着を着て、50歳前半の方々を押しつけ堂々37秒台前半の大会新記録で優勝しました。これには、科学の力と熱意を感じました。何歳になつても速く泳ぐことを考え記録をめざし、色々工夫し頑張っている方がたくさんいることを知りました。私ももうすぐ還暦ですが、新たな気持ちとなり「早く泳ぐ」より「速く泳ぐ」をこれからもめざし、高々卒業後40年今も泳ぎ続けております。

（医師 真木病院副院長 70期）







特別寄稿

# 「全校マラソン」の思い出

清水 敬浩

私の高校三年間の中で今でも鮮明に思い出すのは「全校マラソン」のことです。

一年生の全校マラソンで特別賞に輝きました。順位は千二百人中の1012番でしたが、12番、112番というように下二桁12番がすべて特別賞の対象だったからです。ふらふらになってゴールにたどり着いた時、入賞と言われて本当にびっくりしたことを覚えています。全校マラソンの実行委員会にはユーモアのある先輩がいるものだなあと嬉しくなり、疲れも吹き飛びました。

そもそも高々伝統の全校マラソンは祖父が発案したと生前よく自慢そうに孫の私に話してくれました。突然、祖父が登場して驚かれるかも知れませんが、祖父の清水貞保（あだ名はポテ・高中30期卒）は昭和18年から定年退職する昭和48年まで三十年間も高々・高々で体育教師を勤め、平成17年3月に92才で亡くなりました。

ですから、この全校マラソンを誰よりも頑張らなくてはならない立場でしたが、私は走ることはま

ったく駄目でした。全校マラソン前の体育の時間、観音山風車コースのトレーニングではいつも上りで力尽きてしまい、時にはピリの数人と観音山の茶店で休み、味噌おでんを食べて鋭気を養ってから母校まで駆け下りましたが、タイムオーバーで次の授業が始まっていきついお叱りを受けたことがあります。

当時の体育の先生の中には祖父の教え子もいて「運動神経抜群だったポテさんのDNAが孫にはまったく伝わっていない」と嘆かれたこともありました。

こういう調子でしたから、体育のあとの英語や古文の授業は睡魔に勝てず、ぐっすり寝込んでしまいました。見かねた級友が起こそうとしたところ、先生が気づいて「授業の邪魔にならないから寝かしておけ」と言ってくれたそうです。高々の先生は偉かったですね。このことは卒業したあと何人もの友達から聞かされました。

高校時代というと、みな異口同音に受験地獄と言いますが、私は今思い出しても高校生活は楽しか

ったですね。ガリ勉の秀才も運動部の猛者も私のようにどっちつかずの生徒もそれぞれの個性を尊重して認め合っていて実に自由な雰囲気がありました。

大人になると、失敗した過去の経験を引きずったり周囲の目を意識したりして、なかなか素直になれませんが、これからは極端な悲観論者にならないでやるべきと思ったことは何事によらず実行していこうと思っています。

現代の日本は世界的な不況に加え格差社会が定着し、地方でも閉塞感がみなぎっています。伸び伸びとたのしかった全校マラソンや高々の授業を思い出して明るく生きていこうと思っています。最後はちよっと大げさなコメントになりました。これで失礼します。

（高崎信用金庫勤務）

90期常任理事

# 「理」理化学芸—学芸部の今

## 部活名

- ①顧問名
- ②現部長名
- ③部員数
- ④1週間の活動
- ⑤年間の主な活動
- ⑥今年度の実績
- ⑦現役部員より  
部OBへ一言

### ● 数学部

- ①内山一之・齊藤利男
- ②神澤晋紀
- ③1年生5人、2年生1人、3年生2人
- ④ほぼ毎日
- ⑤6月/県学祭参加、8月/全国数学選手権大会団体戦マスバトル地区予選(1次・2次)突破、全国大会(本大会)3次予選突破、決勝戦(6チーム)進出、入賞
- ⑥6月/県学祭参加、8月/全国数学選手権大会団体戦マスバトル参加
- ⑦8月/全国数学選手権大会団体戦マスバトル地区予選(1次・2次)突破、全国大会(本大会)3次予選突破、決勝戦(6チーム)進出、入賞

### ● 物理部

- ①小林正好・茂木 豊・武井みどり
- ②後開見司
- ③1年生8人、2年生3人、3年生7人
- ④毎日(プログラミング)
- ⑤6月/県学祭参加、物理チャレンジ参加
- ⑥特になし
- ⑦「日々プログラミングの腕を磨いています。来年の県学祭の展示に期待下さい。」

### ● 化学部

### ● 生物部

### ● 地学部

- ①新井 功・内田 均
- ②須賀夏輝
- ③1年生2人、2年生0人、3年生2人
- ④水曜・金曜
- ⑤6月/県学祭参加
- ⑦「3年生が引退し部員は1年生2名になってしまいました。少ない部員ではありますが、今後地学部を活動していく上で、御協力をお願いします。その際はよろしくお願ひします。」

### ● 写真部

- ①矢島宏三・沼野 隆

- ②岸 慶
- ③1年生0人、2年生3人、3年生3人
- ④毎週火・木曜と、月に1回土曜日の午後(不定)
- ⑤6月/県学祭参加、11月/県高等学校総合文化祭参加
- ⑦「現在部員がぎりぎりの状態ですが、なんとか運営できています。これからも頑張っていこうと思っております。是非県学祭に来て下さい。」

### ● 英語部

- ①加藤俊介・田中雅徳
- ②飯野陽介
- ③1年生2人、2年生1人、3年生0人
- ④自由
- ⑤6月/県学祭で部誌を作成
- ⑦「部員は少ないですが、頑張っています。応援よろしくお願ひします。」

### ● 郷土部

- ①曾根秀朗・内田 均
- ②浅見悠司
- ③1年生2人、2年生1人、3年生4人
- ④毎日個人で歴史学習に取り組み、月1回の部内で発表を目標にしています。
- ⑤5月/部誌「温故知新」編集・印刷、6月/県学祭参加
- ⑦「郷土部は歴史を多角的視点から学び、その上で現代社会の理解に役立てよう努めています。」

### ● 文芸部

- ①渡辺正一・伊藤信一・今井恵子
- ②浅見悠司
- ③1年生7人、2年生2人、3年生3人
- ④ほぼ毎日(個人の創作活動を含む)
- ⑤毎月「文藝集」発行、6月/県学祭にて「高文芸賞」受賞
- ⑥第4回群馬県高校生文学賞 文芸誌部門 優良賞、第24回全国高等学校文芸コンクール 文芸誌部門 奨励賞、群馬県予選通過作品として出品(4年連続)
- ⑦「今年は何年以上に部員の意欲が高く、部室内にはいい空気が流れています。来年の「県学」には是非期待下さい。」

### ● 弁論部

- ①坂本直之・島崎吉二
- ②宮沢英樹
- ③1年生1人、2年生0人、3年生1人
- ⑤6月/県学祭参加・弁論大会参加
- ⑦現在部員数が少ない中、細々と活動を続けています。

### ● 美術部

- ①澤田徳彦・新井 悟

- ②種田詩郎
- ③1年生1人、2年生1人、3年生4人
- ④火・水・金。県学祭・高校芸術祭前は毎日。
- ⑤6月/県学祭参加、11月/県高等学校総合文化祭部門参加(優良賞)
- ⑦「毎年のように部員不足の危機の中で、細々とではありますが、活動を継続しています。」

### ● 吹奏楽部

- ①萩原弘和・大野俊彦・江原悠一・池水真孝
- ②富田慎司
- ③1年生17人、2年生18人、3年生19人
- ④「1ヶ月」の活動・休日は月に2日。
- ⑤6月/県学祭参加、定期演奏会、ソロコンテスト参加、7月/県吹奏楽コンクール参加、11月/アンサンブルコンテスト参加、12月/クリスマスコンサート(校内)、1月/同窓会新年総会演奏、3月/新人演奏会参加
- ⑥アンサンブルコンテスト フルート3重奏 金賞、打楽器4重奏 金賞
- ⑦「より一層の発展を期したいと思います。応援よろしくお願ひします。」

### ● マンドリン部

- ①森谷正章・仲谷佳郎・田島悦男
- ②佐藤 響
- ③1年生11人、2年生10人、3年生11人
- ④毎日。演奏会・コンクールの前は土・日も。
- ⑤6月/県学祭参加、7月/定期演奏会、8月/全国高等学校総合文化祭参加、10月/県学生マンダリンフェスティバル、11月/県高等学校総合文化祭参加、12月/クリスマスコンサート、2月/県ギター・マンドリンコンクール
- ⑥県ギター・マンドリンコンクール 優良賞、全国高等学校総合文化祭(三重大会) 参加(5校との合同演奏)
- ⑦「いつも絶大な御支援を賜り、部員一同心より感謝申し上げます。」

### ● 合唱部

- ①仲谷佳郎・萩原弘和
- ②石橋翔平
- ③1年生7人、2年生0人、3年生1人
- ④4月/金(演奏会の前は土日)
- ⑤6月/県学祭(コンサート)、7月/群馬県高等学校芸術祭 音楽部門、団体演奏会、ドイツフェスティバル、11月/県学祭、総合開会式、合唱・吹奏楽・器楽管弦楽合同演奏会、12月/クリスマスコンサート、アンサンブルコンテスト
- ⑦「私たちがこれからも精一杯努力しますので、私たちの活躍に期待していただきたいと思います。また、末永い御支援をよろしくお願ひします。」

### ● 放送メディア研究部

- ①放送専門部の活動に参加するため、本年度より改名
- ①田中雅徳・田島正徳・徳原浩一
- ②山口峻治
- ③1年生4人、2年生8人、3年生1人
- ④火曜日/会議及び諸連絡、他曜日/映像編集、撮影、シナリオ制作
- ⑤5月/NHK杯全国高校放送コンテスト県予選出場、6月/県学祭参加、11月/群馬県高校放送コンクール 出場、他月/大会に向けて作品制作
- ⑥5月/NHK杯全国高校放送コンテストテレビドラマ部門 2位、同期競部門 優良賞、11月/群馬県高校放送コンクール ビデオメッセージ部門 最優秀賞、同オーディオビジュアル部門 優良賞
- ⑦「本年度には現2年生にとつて最後のNHKコンテスト県予選があります。慢心するわけではありませんが、全国大会への出場は当たり前のものと思っております。応援よろしくお願ひします。」

### ● 新聞部

- ①坂爪 誠・曾根秀朗・圓根秀仁
- ②高田 伶
- ③1年生3人、2年生7人、3年生5人
- ④毎月月初に記事となる題材を決め、各自で取材を始めます。中旬に編集後、校正を入れ、下旬に「県学ニプレス」を発行します。
- ⑤毎月「県学ニプレス」での校内のニュース速報、4月/新入生に向けたブックレット発行、6月/県学祭で1年間の集大成となる「県学祭記念号」発行、7月/新生徒会発足にあわせてブックレット発行
- ⑥7月/第13回全国高校新聞年刊紙面審査 優良賞、10月/第23回群馬県高校新聞コンクール 県議会賞
- ⑦「新入部員の少なさに苦しみながらも、毎月の新聞作りに励んでいます。伝統に恥じぬよう頑張ります。」

### ● JRC部

- ①清水智郎・曾根由美子・坂爪 誠
- ②武井佑史
- ③1年生4人、2年生7人、3年生10人
- ⑤5月/高校生協議会、6月/県学祭参加、7月/高校生リーダーシップT.C、10月/あしなが募金、観音山清掃、11月/県高等学校総合文化祭参加、地区T.C、12月/ワークシップ発表会、歳末助け合い募金、2月/群馬・埼玉高校生交歓研修会、3月/高校生リーダー研修会
- ⑦「私たちは青少年赤十字の大原則である「気付き」

「考へ」実行する」を胸に活動しています。  
"Let's volunteer!"

### 落語研究部

- ①木村高広
- ②勸使河原修希
- ③1年生0人、2年生0人、3年生2人
- ④毎週月曜日 不定期
- ⑤「落語」を楽しむ(見なくてもよい)、6月/第57回落語祭「漫才・コント・一発芸」において堂々の3位(自勝)
- ⑦「跡部さん、元気ですか?」

### 囲碁将棋部

- ①茂木 豊・内山一之・茂原賢三
- 【囲碁】
- ②石岡圭輔
- ③1年生3人、2年生5人、3年生3人
- ④毎日(放課後各自)
- ⑤4・5月/全国大会県予選(団体・個人)、6月/県予選参加、第1回囲碁講習会参加、7月/全国大会(団体・個人)、8月/全国高等学校総合文化祭参加、10・11月/関東大会県予選(団体・個人)、12月/第2回囲碁講習会参加、1月/関東大会(団体・個人)
- ⑥4月/第33回全国高校囲碁選手権大会群馬県大会(団体戦)優勝、笹口和秀(3年)、笹口桂佑(2年)、石岡圭輔(2年)、5月/第33回全国高校囲碁選手権大会群馬県大会(個人戦)優勝、笹口和秀(3年)、第2位 笹口桂佑(2年)、第4位 野中健太(3年)、第5位 石岡圭輔(2年)、7月/第33回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会(団体戦)参加、笹口和秀(3年)、笹口桂佑(2年)、石岡圭輔(2年)、8月/第33回全国高等学校総合文化祭(団体戦)参加、野中健太(3年)、石岡圭輔(2年)、個人戦参加、笹口桂佑(2年)、10月/関東大会県予選(団体)優勝、関東大会(個人)優勝、笹口桂佑(2年)、第3位 石岡圭輔(2年)
- ⑦「現在、大会で上位進出のため日々努力をして、棋力向上に努めています。運動部ばかりではなく、文化部の活動も高崎高校の伝統となるよう実績を残さうと思います。」

- ⑧井上和樹
- ⑨1年生15人、2年生9人、3年生3人
- ⑩毎日
- ⑪5月/県高校将棋選手権大会参加、6月/県予選参加、7月/全国高校将棋電王戦群馬県大会参加、9月/関東地区高校文化連盟将棋大会群馬県予選、ベスト8、11月/県高校将棋新人大会 準優勝、井上和樹、全国大会へ

- ⑫5月/県高校将棋交流大会参加
- ⑬5月/県高校将棋選手権大会(団体)3位、7月/全国高校将棋電王戦群馬県大会(3位)井上和樹(3段位授与)、9月/関東地区高校文化連盟将棋大会群馬県予選、ベスト8、11月/県高校将棋新人大会 準優勝、井上和樹、全国大会へ

### 鉄道研究部

- ①島田 学・笠原車太
- ②碓氷武尊
- ③1年生4人、2年生3人、3年生5人
- ④毎日(各自)
- ⑤4月/新入生歓迎旅行、6月/県予選参加(ジオラマ展示・部誌発行)、8月/撮影旅行(全国総文祭交流会参加)、11月/県総文祭参加(ジオラマ展示・部誌発行)、鉄道フェア参加(ジオラマ展示)、12・5月/ジオラマ製作
- ⑥県予選第1位(10年以上連続)
- ⑦「最近では関東・全国規模で様々な高校と交流しています。」

### 和太鼓部

- ①池水真琴・中野陽子・諏訪賢一
- ②大澤典史
- ③1年生6人、2年生7人、3年生3人
- ④4月/金(練習)
- ⑤6月/県予選参加、8月/全国総文祭参加、11月/県総文祭参加、3月/定期演奏会、随時/祭りイベントに出演
- ⑥8月/全国高等学校総合文化祭(三重大会)郷土芸能部門 参加、11月/群馬県高等学校総合文化祭 郷土芸能部門 優秀賞
- ⑦「定期演奏会での御協力ありがとうございます。」

### 百人一首同好会

### SF研究同好会

### 料理研究同好会

- ①曾根由美子・武井みどり
- ②林 匠
- ③1年生0人、2年生0人、3年生6人
- ④曜日を決めずに、食べたい物を食べた時に。
- ⑤6月/県予選参加
- ⑦「男子厨房に入るべし」の精神を引き継ぎ、楽しく充実した活動ができました。残念なのは、この精神を受け継ぐ1、2年生がいらないことです。」

### 戦時下の高崎中学校吹奏楽部

安藤 直典

私の今日まで続いている音楽との出会いの場所であった高崎吹奏楽部は私の入学した昭和15年に創部された当時10名ほどの今から見ると誠に可愛らしいバンドだった。

当時部員の必須曲目は「君が代」「分列行進曲」(現在は扶桑歌)の2曲。大東亜戦争後は毎月8日の大詔奉戴日(12月8日に開戦した)には校庭での分列行進が恒例であった。ということでは戦時下とあっては演奏する曲は殆どマーチばかり、それもスーズなどは敵性国家の音楽として演奏禁止という今では考えられない状況であった。戦局の悪化につれて相次ぐ予科練・特幹の入隊に際して高崎駅まで送る街頭行進をするのがせいぜい、部員不足となって空いたパートを埋めるのに四苦八苦、拳句には護国神社への行進にラッパ部に助っ人で軍隊ラッパを吹く始末。そして昭和19年には軍需工場に動員、工員となり翌20年、四年で卒業。誠にひどい時代でした。翌21年高崎で旗揚げした高崎市民オーケストラに入団して今日までの音楽との係わりがまた始まったのである。

(安藤株式会社 相談役 45期)

### 鉄道研究部

部長 碓氷 武尊

私たち鉄道研究部の活動は、年に3回の旅行と年間を通じてのジオラマ製作・修繕・改良です。

旅行は4、5月に新入生歓迎旅行、夏休みと冬休みに青春18きっぷ等を使って撮影旅行に行きます。今年度は新入生歓迎旅行で東京の地下鉄博物館に、夏休みには全国総合文化祭三重大会の交流会に参加しました。

ジオラマは豊8、10畳ほどの大きさで、毎年12月になるとその年のジオラマを解体して、次年度の準備に向けて新しいものを作り始めます。それを11月に行われる県総合文化祭にも展示しています。要請があれば他のイベント(昨年度は県中小私鉄フェア、今年度は上信電鉄鉄道感謝フェア)にも出展しています。

OBの方々には日頃からお世話になっており、展示の際にNゲージ鉄道模型の車両をお借りしたり、準備終了後に懇談会(慰労会)を開いていただいたりしています。

現在我が部は創部20周年を目前に控えているところですが、経年劣化のためによい状態の模型車両が少ないという深刻な問題を抱えております。それらの車両は整備も限界になりつつあります。部費はほとんどがジオラマ制作費にまわってしまい、車両の買い換えはできません。同窓生の皆様におかれましては、どんな状態のものでも構いませんので、不要の車両や部品がありましたら寄付して下さいますようお願い申し上げます。

**第一回 高崎高校OB 囲碁大会開催のお知らせ**

1. 月日 平成22年2月14日(日)
2. 場所 高崎中央公民館
3. 時間 9時集合、9時30分対局開始
4. 対戦方法 ハンデ戦
5. 会費 1,000円  
(ハンデ戦ですのでどなたでも参加できます。)

\*連絡先  
参加希望者は事務局・藤崎  
TEL:090-3573-7475  
までご連絡下さい。

特別寄稿

# 「追想」音楽センターと井上房一郎翁とのこと



小池 利明

「昨今、音楽センターの先行きについて色々取沙汰されている。それを耳にするたびに青春の一つの思い出が頭をよぎるのである。」

「社長、ちょっとお願いがあります」

いつも校庭の薔薇の花壇の手入れをしていた井上房一郎翁（と、お呼びする）に話しかけた。

昭和34年、今から50年前の夏のこと。

翁は脚立に乗って薔薇にハサミを入れながら、チラッと見下ろしながら、「うん？」と言って、しばらくして「何んだね」と、言うので見上げながら、「夏休みになるので、何かアルバイトをやりたいのですが」

翁は、少し自分の顔を見つめていたが、「名前は、何年生、家はどこ？」など訊いてから、即座に「じゃあ、僕は今音楽センターを造っている、そこに来なさい」と、言われた。

幾日も前からどうしようかと考えていたことなので、そのあっけなさに驚いた。

お陰で建設の始まった音楽センターの、基礎工事の現場で働くことになった。

働くといっても、やることは5センチ角のコンクリートブロックを作ったり、流し込まれた生コンを竹の棒で突ついたり、掃除などの雑役。

こんなこともあった。

当時、日雇い日給は、いわゆる《ニコヨン》240円だったが、こんな高校生が270円貰った。

配慮に嬉しかったが、周りから「君は社長からの特別だからなあ」と、皮肉られ、「そうですかねー」としか言えないで下を向いていたことを今も覚えている。

これが自分にとって、現実の社会の初めての会話であったと思う。そのかわり夏休み中一日も休まず通った。

ある日、記録的な大きな台風があり、豊岡の国道が冠水して、車も立ち往生するような中、自転車を担いだりしてようやく現場にたどり着いた。

すると現場監督が「よく来たな。今日は出たことにしとくから、帰

っていいよ」と言われた時は本当に儲かった気がした。

台風一過の青空の下、さわやかな追い風に乗って、口笛を吹きながら自転車で安中まで帰ってきた。そして最後の日、皆勤だったということなのか、ワイシャツの生地を初めて貰ったことも忘れられない。

つい駄文を草したが、音楽センターと井上房一郎翁との、月光のような淡い、我が青春の思い出の一コマである。

しかし翁は、もう居らない。また、音楽センターも、これからのような形で推移するのか。門外漢が語る資格はないが、建物、それも公共の施設である以上、いづれある時期に見直すことは当然であろう。

が、同時に何らかの形で姿を残して欲しいと思ったりもする。何年ぶりだろう、あらためて懐かしい薔薇の花壇の前に佇んだ。すると、翁が脚立の上でハサミを動かしている姿があったー、ように見えた。

(元安中市助役 59期)



### 同窓会だより

#### 同窓会だより

### 旧高中三八会を 終了して一纏めの記

石田文次

思い返して見れば私達同窓生は、上和田から移転して現校舎での最初の同窓生として再会を約して、行く手の輝かしい人生に向けて乗附の地を巣立って行ったのですが、時は非常、平和が戻った昭和22年に第一回の会合を開いた時点には45名（1クラス分が国の礎となつて物故）が再び顔を合わすことなく、以後重田精一主幹事の下、年毎続け（2回程休会はあったが）られて、今年は多分60回と云う節目の、而も皆米寿を迎えたか、迎える年と云うことでお互い祝い合う会にと目論んで居った矢先のこと、主（万年）幹事の正かの急逝と、数名居ったサブ幹事も次々と既に物故されて居る今日、存命会員34名も殆どが体の不調不具合を訴えている。無理にもと云われてサブとして引き受け7年目にして閉めるのも思いつつも更に監査となつてもらった飯野正兄らとも相計つて去る2、3日泊つての閉

会を催したところ東京からも3名が無理して来てくれ11名の手で閉じることができました。有終の美を飾るとはいかなかったが何とか締めくくり得ました。

平成21年6月16日

（38期 幹事）



#### 同窓会だより

### 高高的グラウンドにて

近藤 富男

我々61会（37年卒）の同窓イベントは10月30日に「ゴルフ組・懇親会組・観光組と総勢63人で錦山荘を中心に行いました。

翌31日は数十年振りに「洞窟観音」・「白衣観音」を拝観し最大のイベントである母校のグラウンドで「翠巒」の合唱と言う行事を母校の校長であり又68期卒の「藤倉校長」の同席のもと約30名にておこないました。

同日は土曜日なので生徒諸君は休日と思いきやなんと「模擬試験」の真っ最中で内心非常に恐縮しながら校舎の脇道をそれでも堂々と昔を偲びながら以前は「ここには、プール」が、テニスコート、が等々の話をしながら一歩一歩歩く事で時代が逆行して行く様子が手に取るように感じたのは私一人だけでは絶対になかった事と思います。

目的地に着いた時には気持ちの高揚は最高潮に達して「翠巒」合唱時には自然に円形になって肩を組み合い全員が50年前の高校生になりきって今迄見たこともない真剣な表情でありながらしかし非常に満足の表情での様子は今でもはっきりと脳裏に焼きついてます。



（61会イベント実行委員長 61期）

僅か数分の時間帯ですがしかも何百回・何千回と歌ってきた「翠巒」がこれ程母校の生徒であり又同級生であったことへの満足感は無代までの自慢です。

歌い終わった全員が胸の奥からジーンと込み上げて来るものがあったと言う事は表情から十分に汲みとれました。

我々の行動が少なからず生徒諸君や先生方にご迷惑であった場合はお赦しを願いますが我々のメンバーにとっては最高の瞬間であった事もまたご記憶くだされば幸いです。

ありがとうございました。

同窓会だより

同窓会だより

関西翠鸚会

糸田 博史

関西翠鸚会は、現在26名で小規模に行っております。

年代も、最長は36期(昭和12年卒)の平形行雄さんから、若い方では96期(平成9年卒)の相浦一志さん迄、年齢の幅は大きいですがメインは60歳を超えたシニアです。

そう言う私も、昨年早期退職をし、趣味のゴルフとパソコン漬けの毎日の自由人です。

現役の時からパソコンが好きで、平成元年位から案内状を出す世話役をやっております。

平成元年当時は会員数20名位で、出席される方は10、15名の固定メンバーで家族的で良い面もありましたが、若い方が少ない状態でした。

そこで、会員数を増やし、若い方にも入会して頂き活性化しようと、先輩達と相談の上同窓会名簿から関西在住の方をピックアップして150名ほどに案内状を送付しましたが出欠葉書の回収率が悪く2年ほどで増員計画は挫折してしまい現在に至っております。

年間の行事は、3校(高々、高工、高商)の同窓会、対抗ゴルフコンペ、高々のみ同窓会、ゴルフコンペがメインです。

毎年2月第3金曜日に3校合同の同窓会を、「くだおれ」で行っておりますが、昨年「くだおれ」が店を閉めましたので、今年から「三ツ三ツ」の「吉本店」で行っております。飲談の後、3校それぞれがエールの交換をし校歌の合唱(当方は翠鸚)、

最後は高女出身の前田フミ子さんの指揮の下「ふるさと」を全員で合唱してお開き、後は「トビーの青山」で高々の面々が集まり故郷の話をして解散がパターンとなっております。

秋(今年10月22日)には関西翠鸚会を、上本町「吉在門」で会費¥5,000でリースナブルに行い、各自の近況確認・昔話に花を咲かせ、2次会で分科会が恒例となっております。

ゴルフは、4月、9月に3校対抗コンペを「愛宕原G.C」で行っておりますが、ここは桜の名所として知られ、満開の桜の下でのショットは最高の気持ちです。

又、3校対抗ということと、適度な緊張感の中でプレーするので、スリリングな楽しさも味わえます。

今年から、3校対抗コンペの前に練習も兼ねて高々だけでラウンドし、各自腕を磨いております。

ゴルフは好評なので、今年から年4回開催したいと思っております。

まだまだ関西翠鸚会の存在が認知されていない状況なので、この同窓会だよりの場をお借りして会員の方が一人でも増えたらと思っております。

同窓会だよりを眺まれた方で、参加されたい方は、糸田迄(E-mail: itoda\_h@yahoo.co.jp、携帯:090-11022-2857)連絡頂けたら幸いです。

最後に、このような機会を与えて下さった高々職員の方々に御礼を申し上げますと共に、高崎高校の益々の発展、同窓会各位の御活躍・御健勝をお祈り申し上げます。

(昭和44年 68期)

同窓会本部から

◆翠鸚セミナー

●第1回(通算59回)平成21年6月20日(土)「司法制度改革の要点について」  
「新しい法曹養成制度と裁判員制度」  
弁護士 橋爪 健 氏(74期)

●第2回(通算60回)平成21年10月17日(土)「トーク&ライブ」  
「芸とこの世界」  
音曲師・落語家 柳家 紫文 師匠(通信21期)

◆本部活動報告

- 1月6日(火) 会計監査会
- 14日(水) 第1回本部幹事会
- 17日(土) 第1回常任理事会
- 24日(土) 第107回総会
- 3月30日(月) 第2回本部幹事会
- 4月25日(土) 第2回常任理事会
- 5月24日(日) 第16回同窓会ゴルフ大会
- 6月16日(火) 第1回理事会
- 9月2日(水) 第3回本部幹事会
- 12日(土) 第3回常任理事会
- 11月26日(木) 第2回理事会

◆本部役員人事

役員任期満了につき、1月24日(土)第107回総会に於て左記の役員が改選、承認されました。

- 会長 原浩一郎(56期) 留任
- 副会長 佐藤和徳(57期) 留任
- 大木紀元(58期) 留任
- 有田喜一(60期) 留任
- 串田紀之(67期) 留任
- 長坂資夫(70期) 留任
- 松原真介(副校長)
- 増田芳之(全日制教頭)
- 武井 正(通信制教頭) 71期
- 和田 徹(56期) 留任
- 浅沼孝幸(73期) 留任
- 松岡光弘(77期) 留任

会計監査

役員人事に伴い左記の役員が原会長より委嘱されました。

- 本部幹事長 若山 享(58期) 留任
- 書記 2名(校内幹事)
- 会計 2名(校内幹事)
- 常任理事 154名
- 理事 213名

任期は総会で会則が改訂され各々2年です。

◆財団法人翠鸚育英会人事

役員任期満了につき、4月21日(火)第45回理事会に於て左記役員が改選、承認されました。

- 理事長 佐藤和徳(57期) 留任
- 副理事長 國澤善次郎(50期) 留任
- 安藤政典(45期) 留任
- 大木紀元(58期) 留任
- 常任理事 若山 享(58期) 留任
- 理事 6名
- 監事 2名

◆訃報

白田博二氏 79才(47期) 1月1日逝去  
同窓会常任理事、元上毛新聞社副社長、群馬交響楽団理事他要職を歴任。

湯澤 博氏 47才 3月1日逝去  
本校教諭

重田精一氏 87才(38期) 3月28日逝去  
同窓会常任理事、元同窓会副会長、翠鸚育英会理事長、元日本医師会 常任理事他要職を歴任。

松沢 睦氏 78才(47期) 9月7日逝去  
同窓会常任理事、社会福祉法人希望館理事長、元県議、県議会議員や各種常任委員長他要職を歴任。

安藤文夫氏 93才(32期) 10月3日逝去  
同窓会元常任理事、安藤株式会社相談役  
謹んでご冥福をお祈り致します。

卒業生の作品紹介 25

矢野 間隆

(写真作家 66期)



『私の作品』  
「髪斗をつけても」

化粧品・宝石・自動車・美術品等商業写真撮影の世界で技術を中心に活動してきた四十年でした。

その間個展用に商業的制約の無い煩悩のみの作品制作を行って来ました。

『待てない女』・『想い』・『た・ト・ー』・『ダンサー』・『錯覚』等、総べてシリーズとして制作した作品で、シリーズでの完成はまだですが今回は『想い』の中一枚「髪

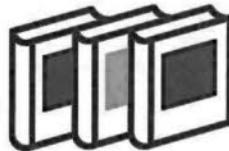
斗をつけても」とコンテンポラリー作品「夏・海」の二点を掲載させていただきました。

「髪斗をつけても」は女性からこんな想われかたをされたらとの思いで、ユーモア&セクシーな一枚に仕上げました。

「夏・海」は立体的な写真作品でイメージとしてこの様に見えると思うサンプルです。

翠 戀文庫 BOOK

～すいらんぷんこ～



平成20年10月1日～平成21年9月30日

◆翠戀文庫について◆

翠戀文庫は、著者または訳者が高崎高校の卒業生及び関係職員であり、本人またはその関係者から寄贈された図書で構成されています。

●著書

- 税法からの問 税法からの答
- 天国のお父ちゃんへ
- エキソ音楽超特急 完全版
- 航跡雲
- 雑木の庭
- 詩集 問いかける
- モルゲンロート急行
- PROVIDENCEシリーズ1～10
- 各界トップが語る 改革のプロセス全3巻
- 大学BOOKS高校生選書 全3巻
- 弁理士試験BASIC1・2
- 日商簿記2級 光速マスターテキスト 全4巻
- 僕の軍隊生活
- 有志竟成・啓真寮・上州倉賀野・なつかしの桐生

●作者

- 新井 隆一(46期)
- 梅沢 義宣(梅澤 克久)(81期)
- サラーム海上(海上 卓也)(84期)
- 佐藤 博(佐藤 健二)(74期)
- 川上 哲男(50期)
- 井上 朝之(井上 久朝)(63期)
- 石川 雅也(50期)
- 反町 勝夫(58期)
- 反町 勝夫(58期)
- 反町 勝夫(58期)
- 東京リーガルマインドLEC総合研究所(反町 勝夫)(58期)
- 東京リーガルマインドLEC総合研究所(反町 勝夫)(58期)
- 大野 高義(38期)
- 大島 進(57期)

平成二十一年度 褒章・叙勲受章者 (敬称略)

〈危険業務従事者叙勲〉

- 瑞宝双光章 矢島 道章(52期)
- 瑞宝双光章 鈴木 元一(53期)

〈20年春の叙勲〉

- 瑞宝中綬賞 室賀 實(51期)
- 瑞宝双光章 鈴木 保(50期)

〈21年春の叙勲〉

- 瑞宝中綬賞 藤巻 宏(56期)
- 瑞宝小綬賞 遠藤 文夫(46期)
- 瑞宝双光章 伊藤 秀男(45期)
- 瑞宝双光章 山岸 俊文(52期)
- 瑞宝単光章 上原 博男(54期)

〈21年秋の叙勲〉

- 瑞宝中綬賞 鈴木 政徳(55期)
- 瑞宝小綬賞 田中 充(49期)
- 瑞宝単光章 中島 俊一(46期)

(注)もし漏れがありましたら、恐縮ですがご連絡ください。

# 母校だより

## 各部の活躍・活動

ソフトテニス部 部長 高橋 佑弥

僕たちソフトテニス部は「全国大会優勝」という目標のもと、顧問である井坂先生に勝つためのご指導を頂きながら日々の練習に励んできました。他校と比べ練習時間が少ないハンデを受けつつも、チーム一人一人が意味のある練習を心がけ、改善点をお互いに指摘し合い、努力しました。行動面では、勝つための条件でもある「先を見据えた行動」というものに重点を置き、他校の模範となり、リードしていく高崎高校のリーダー性を養ってきました。

新チームとなって最初の大会である新人戦。どうスタートが切れるか重要な



ところ、初戦から苦しい戦いが続きました。そこを何とか勝ちとった僕らは流れをつかみ、ノースードの位置から決勝まで駒を進め、激戦の末に優勝を手にすることができました。今回の大会で目標に向かって良いスタートが切れたものの、課題も多く見つかったものとなりました。それらの課題を克服して次のステップに進めるように取り組んでいこうと思います。最後に、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも更なる高みを目指して頑張っていきたいと思っておりますので今後も応援よろしくお願ひします。

「軟式野球部 新人戦 関東3位」主将 高野 創志

顧問の田島悦男先生と篠原先生の御指導のおかげで、苦しい試合展開でしたが、県大会で優勝、関東大会3位という成績を残すことができました。それもこれも、誰一人として最後まで諦めず、集中力を切らさなかった結果だと思えます。来春は秋春連覇、そして関東1位を目指したいと思っておりますので、今後も応援よろしくお願ひいたします。



### SPORTS 運動部

- ① 県総合体育大会
- ② 関東大会
- ③ インターハイ予選
- ④ 全国高校総体
- ⑤ 国体
- ⑥ 県新人大会
- ⑦ その他の大会

### 硬式野球部

○春季大会

- 1 回戦 高崎9—2 群馬高専
- 2 回戦 高崎5—1 高崎経附
- 3 回戦 高崎8—3 藤岡北
- 4 回戦 高崎2—1 太田市商
- 準々決勝 高崎1—8 高崎商(ベスト8)

○選手権群馬大会

- 2 回戦 高崎11—3 下仁田
- 3 回戦 高崎5—0 群馬高専
- 4 回戦 高崎0—3 太田

○秋季大会

- 2 回戦 高崎0—1 富岡実

### ラグビー部

- ① 1 回戦 高崎103—5 桐生工
- 準々決勝 高崎5—76 東農大ニ(ベスト8)
- ⑦ 県選手権大会

予選リーグ

- 高崎20—19 前橋
- 高崎33—10 桐生第一
- 決勝トーナメント
- 1 回戦 高崎22—5 前橋

- 準々決勝 高崎0—70 東農大ニ(ベスト8)
- ⑦ 県高校1年生大会
- 1 回戦 高崎0—31 高崎商

### サッカー部

- ① 1 回戦 高崎9—1 洪川青翠
- 2 回戦 高崎3—0 伊勢崎工
- 3 回戦 高崎2—1 新島学園
- 準々決勝 高崎2—3 高崎経附(ベスト8)
- ③ 4 回戦 高崎1—3 桐生(ベスト16)
- ⑥ 1 回戦 高崎4—0 東農大ニ
- 2 回戦 高崎4—0 関学大附属
- 3 回戦 高崎2—0 共愛学園
- 準々決勝 高崎0—2 前橋育英(ベスト8)
- ⑦ 高校サッカー選手権大会群馬県予選
- 決勝トーナメント 高崎5—0 太田市商
- 高崎1—3 館林(ベスト13)

### 陸上競技部

- ① 古市真也 八百m 3位
- 関口頌悟 五千m 6位
- 久留飛遊寿 百十mH 1位
- 根岸侑希 三千mSC 5位
- 大小原俊 五千mW 3位
- 金子 寛 やり投 4位
- 四×百mリレー(瀬下・久留・馬場・田代) 6位
- 四×四百mリレー(馬場・田代・長壁・古市) 5位
- 男子総合成績 第7位
- ② ③ 大小原俊 五千mW 7位
- 金子 寛 やり投 8位
- 関口頌悟 五千m 10位
- 古市真也 八百m 出場



久留飛遊寿 百十mH 出場  
根岸脩希 三千mSC 出場

四×百mリレー(瀬下・久留・馬場・田代)出場  
四×四百mリレー(馬場・田代・長壁・古市)出場

⑥田代和也 二百m 8位  
古市真也 八百m 1位

一木悠太 八百m 4位  
関口頌悟 千五百m 1位

古市真也 千五百m 2位  
吉野順久 千五百m 5位

関口頌悟 五千m 1位  
石原 翔 五千m 5位

岸 貴大 五千m 6位  
金井美海 三千mSC 3位

岸 貴大 三千mSC 6位  
須田貴士 五千mW 3位

大澤佑太 走高跳 4位  
金井大貴 棒高跳 8位

大澤佑太 三段跳 8位  
櫻井奏人 砲丸投 8位

永井潤哉 やり投 6位  
櫻井奏人 やり投 7位

原 義明 やり投 8位  
四×百mリレー(高橋・田代・真鍋・長壁) 5位

四×四百mリレー(真鍋・田代・長壁・古市) 1位  
一木・古市・関口・金井・須田と四×四百mリレーが関東選抜新人選手権大会に出場。

⑦群馬県選手権大会  
古市真也 八百m 6位

関口頌悟 千五百m 4位  
関口頌悟 五千m 1位

久留飛遊寿 百十mH 4位  
根岸脩希 三千mSC 9位

大小原俊 五千mW 5位  
四×百mリレー(瀬下・久留・馬場・田代) 6位  
四×四百mリレー(馬場・田代・長壁・古市) 5位

すべて関東選手権大会に出場。

⑦学校対抗

馬場章人 百m 7位  
田代和也 四百m 6位

古市真也 八百m 6位  
金井美海 八百m 6位

山口聡久 千五百m 7位  
関口頌悟 五千m 2位

根岸脩希 三千mSC 2位  
猪瀬舞貴 五千mW 5位

四×百mリレー(高橋・田代・馬場・瀬下) 6位  
石井雅敏 走高跳 8位

金子 寛 砲丸投 8位  
金子 寛 やり投 5位

男子総合成績(二部校15校中) 8位  
一部校残留  
⑦高校駅伝県予選 第5位 関東大会出場

関口頌悟 第1区 区間賞

水泳部

①柳 義裕 四百m自由形 3位

柳 義裕 百mバタフライ 4位  
四百mリレー(柳・下田・高橋・関口) 6位  
八百mリレー(柳・下田・関口・高橋) 5位

四百mメドレーリレー(山崎・下田・高橋・関口) 6位  
男子総合 7位

③柳 義裕 百m自由形 5位  
柳 義裕 五十m自由形 5位

四百mリレー(高橋・下田・柳・関口) 7位  
⑥関口 五十m自由形 3位

関口 百m自由形 5位  
山崎 五十m背泳 4位

山崎 百m背泳 5位

下田 五十m平泳ぎ 2位

下田 百m平泳ぎ 3位  
折間 五十m平泳ぎ 5位

折間 百m平泳ぎ 4位  
二百mリレー(関口・折間・下田・山崎) 2位  
二百mメドレーリレー(若山・下田・折間・関口) 2位

山岳部

①4位

②出場  
⑥2年男子 縦走 岩崎一輝 2位

⑦県高校クライミング選手権 西野敬祥 3位

⑦山田昇記念杯登山競争大会 三枝照雄の部 岡田陽介 2位

ソフトテニス部

①団体 2回戦 高崎2-1吉井

3回戦 高崎2-0館林  
4回戦 高崎2-1健大高崎

決勝リーグ  
高崎0-3前商

高崎0-3沼田  
高崎0-3農二(4位)

個人 有坂・高橋組 3位  
②個人 有坂・高橋組 3回戦

③団体 2回戦 高崎3-0安中総合  
3回戦 高崎0-2伊市高(ベスト16)

⑥団体 2回戦 高崎2-1吉井  
3回戦 高崎2-0前商

4回戦 高崎2-0高商

準決勝 高崎2-1前橋  
決勝 高崎2-1農二(優勝13年ぶり)

個人 経間・池田組 3位  
⑦1年生大会 深堀・黛組 5位

テニス部

①個人

ダブルス 柴山・大谷組 ベスト32  
ダブルス 小林・丸山組 ベスト32

③個人  
ダブルス 柴山・大谷組 ベスト32  
ダブルス 小林・丸山組 ベスト32

⑥団体 ベスト8  
個人

ダブルス 角田・金井組 3位  
ダブルス 柴山・大谷組 ベスト32

シングルス 角田 3位

バスケットボール部

①1回戦 高崎148-11下仁田

2回戦 高崎102-38太田工業  
3回戦 高崎92-59前橋東

準々決勝 高崎85-88太田  
③インターハイ予選

1回戦 高崎116-20渋川工業  
2回戦 高崎73-40中央中等

3回戦 高崎64-80前橋西  
⑦ウインターカップ予選

1回戦 高崎56-62新島学園  
⑦西毛地区大会

2回戦 高崎120-50高崎工業  
3回戦 高崎92-59農二

準決勝 高崎109-69新島学園  
決勝 高崎69-102高崎商業(2位)

### バレーボール部

- ①2回戦 高崎2-0前南
- 3回戦 高崎2-0館林
- 4回戦 高崎2-1明和県央
- 準々決勝 高崎0-2桐商(ベスト8)
- ③4回戦 高崎2-0前工
- 準々決勝 高崎2-0伊商
- 準決勝 高崎0-2桐商(3位)
- ⑦西毛地区大会
- 2回戦 高崎2-0藤岡中央
- 準決勝 高崎2-0高工
- 決勝 高崎2-0明和県央(優勝)
- ⑦新人戦
- 2回戦 高崎2-0板倉
- 3回戦 高崎2-0前橋育英
- 4回戦 高崎2-0太田
- 準決勝 高崎1-2伊勢崎(3位)

### 卓球部

- ①学校対抗 1回戦 敗退
- 個人 2回戦 敗退
- ②学校対抗 2回戦 敗退
- ⑥個人 3回戦 敗退
- 団体 ベスト16
- ⑦県高校卓球強化大会(全国選抜1次予選)
- 男子ダブルス
- 清水一輝・高野 遼ペア ベスト16

### 剣道部

- ①ベスト8
- ③ベスト16
- ⑦高校対抗選手権剣道大会 3位

### 柔道部

- ①団体戦 ベスト16
- 個人戦 井上登志晴 無差別級 2位
- ②個人戦 井上登志晴 出場
- ③団体戦 ベスト8
- 個人戦 井上登志晴 90kg級 2位
- ⑤井上登志晴 90kg級 群馬県代表
- 関東プロック大会出場 予選敗退
- ⑥団体戦 3位
- ⑦県ジュニア選手権大会
- 井上登志晴 90kg級 優勝

### 弓道部

- ⑦西毛地区大会 個人 佐藤威弘 準優勝
- 高崎市民大会 個人 細矢 芽 3位
- 佐藤威弘 6位
- 井上滉己 7位

### 空手道部

- ①団体 形 ベスト8
- 組手 ベスト8
- 個人 形 小池 ベスト8
- 組手 田中 ベスト8
- ③団体 形 ベスト8

組手 ベスト8  
個人 形 小池 ベスト8  
組手 田中 ベスト8

### 軟式野球部

- ①2回戦 高崎11-6前橋南
- 準々決勝 高崎4-5高崎商(ベスト8)
- ⑥2回戦 高崎2-0前橋育英
- 準々決勝 高崎5-2前橋
- 準決勝 高崎1-0高崎商
- 決勝 高崎1-0前橋商(優勝)
- ⑦夏季県軟式野球大会
- 2回戦 高崎12-2桐生工
- 準々決勝 高崎1-2前橋商(ベスト8)
- ⑦秋季関東軟式野球大会
- 2回戦 高崎7-6八千代松陰(千葉)
- 準々決勝 高崎0-5作新学院(栃木)(3位)

### バドミントン部

- ①団体戦 2回戦 高崎0-2前東
- 個人戦
- ダブルス 黒森・木暮組 ベスト64
- シングルス 水野 ベスト32
- 田中 ベスト64
- ③学校対抗戦
- 2回戦 高崎0-2伊勢崎清明
- ⑥ダブルス 熊王・須藤組 ベスト16
- シングルス 熊王 ベスト16
- 学校対抗戦 2回戦 高崎0-2桐商
- ⑦高校生大会 シングルス 松田 準優勝

## 卓球クラブ 全国大会出場 清水 良一

卓球クラブは現在、諸先輩方の伝統を引き継ぎ、20~27歳までのメンバーで活動しています。今年、7年ぶりに群馬県予選を突破し、北海道で開催された全国大会に出場しました。

全国大会では、予選で八田クラブ(京都)、決勝トーナメントの一回戦で昨日対戦した八田クラブ、二回戦でREAL MACHINE(北海道)を破り、三回戦に進出しました。

三回戦では、三年前に優勝経験もある強豪長崎教員クラブ(長崎)と、ベスト8進出をかけて対戦しました。第1セットは、連続試合の疲れから序盤からリードを許し、17-25で落としました。第2セットはレフトエースを中心とした卓球クラブらしい攻撃で、25-23と粘り勝ちしました。しかし第3セットは17-25で落とし、結局1-2で破れ、大会を終えました。

今回の全国大会は、ベスト16という結果に終わりましたが、トーナメントを勝ち抜き、強豪相手に善戦したことは、大きな自信になりました。大会を終え、チームは大きく成長できたと思います。今後、新たな卓球クラブの歴史を刻んでいきたいと思っています。

(伊勢崎市小学校教諭 103期)

# 第63回定期戦



「四連覇」：

昨年、「三連覇」という偉業の達成を目の当たりにした瞬間から私達は次に第六十三回を戦う者として、この決して容易くはない「使命」を帯びました。あれから一年、皆で勝利を掴んだ今、私の思いを言葉にするなら感無量というほかありません。

勝利に向けた先輩方の思いを継ぐべく、今年も夏休み前から練習が始まり、数々の問題乗り越えながら決戦の日を迎えました。大会ではどの競技においても目に焼きつくような白熱した闘いが繰り広げられ、終わってみれば31点差という大差を以ての勝利でしたが、連敗を阻止せんとする前高生もまた素晴らしい勇姿を見せてくれました。両校一歩も譲らぬ中で明暗を分けたのは、本戦における圧倒的な高々生の気迫だったのではないかと思います。

三年間を通じて、定期戦は文武両道を極めんとする高々生にとっては恰好の舞台であり、また真の高々生として備えるべき勇猛精進の気質を養う闘いであると感じました。最高の仲間達と最高の定期戦を闘えたことを誇りに思います。しかし、これは更なる連覇への布石にすぎません。今後とも永遠の宿敵前高生と最前線で闘う現役生に、一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。ご報告とさせていただきます。

第63回定期戦実行委員長 橋爪 諒

## 進路状況 (全日制) ( )内は現役

| 大学     | 年次 | 19年    | 20年    | 21年    | 大学    | 年次 | 19年      | 20年      | 21年      |
|--------|----|--------|--------|--------|-------|----|----------|----------|----------|
| 北大     |    | 8(5)   | 4(3)   | 4(3)   | 慶應大   |    | 48(33)   | 71(50)   | 42(32)   |
| 東北大    |    | 29(27) | 35(34) | 17(13) | 早稲田大  |    | 60(47)   | 81(60)   | 83(67)   |
| 筑波大    |    | 7(7)   | 11(9)  | 7(5)   | 中央大   |    | 79(73)   | 88(75)   | 76(70)   |
| 千葉大    |    | 6(5)   | 15(14) | 7(6)   | 明治大   |    | 105(94)  | 118(98)  | 116(103) |
| 群馬大    |    | 42(37) | 29(25) | 22(20) | 上智大   |    | 4(1)     | 2(0)     | 8(8)     |
| (医)    |    | 6(5)   | 8(8)   | 0(0)   | 立教大   |    | 21(16)   | 25(11)   | 27(19)   |
| 埼玉大    |    | 10(9)  | 9(7)   | 6(6)   | 学習院大  |    | 3(2)     | (2)      | 4(2)     |
| 東京大    |    | 12(7)  | 13(10) | 17(17) | 青山学院大 |    | 9(5)     | 15(13)   | 21(15)   |
| 一橋大    |    | 1(1)   | 4(4)   | 1(1)   | 法政大   |    | 21(18)   | 35(32)   | 31(24)   |
| 東工大    |    | 6(4)   | 7(4)   | 5(5)   | 日本大   |    | 95(73)   | 52(43)   | 39(34)   |
| 東京外国語大 |    | 0(0)   | 0(0)   | 5(5)   | 東京理科大 |    | 148(137) | 159(144) | 65(54)   |
| 横国大    |    | 6(6)   | 8(7)   | 4(3)   | 芝浦工業大 |    | 94(90)   | 61(59)   | 51(42)   |
| 新潟大    |    | 18(17) | 8(5)   | 16(12) | 明治学院大 |    | (20)     | (30)     | 14(13)   |
| 金沢大    |    | 6(6)   | 10(10) | 8(7)   | 同志社大  |    | 1(0)     | 19(18)   | 18(12)   |
| 信州大    |    | 5(5)   | 3(1)   | 3(3)   | 立命館大  |    | 18(17)   | 9(1)     | 3(3)     |
| 名古屋大   |    | 2(2)   | 0(0)   | 1(1)   | 高経大   |    | 5(5)     | 11(11)   | 8(6)     |
| 京都大    |    | 2(2)   | 5(4)   | 3(2)   |       |    |          |          |          |

## 第63回定期戦得点表

| 部対抗  |    | 種目       | 一般対抗 |    |
|------|----|----------|------|----|
| 高高   | 前高 |          | 高高   | 前高 |
| /    | /  | 水泳       | 3    | 6  |
|      |    | 駅伝       | 9    | 0  |
|      |    | 綱引き      | 0    | 9  |
|      |    | 玉入れ      | 9    | 0  |
|      |    | ソフトボール   | 6    | 3  |
|      |    | 長縄       | 1    | 4  |
|      |    | 卓球       | 3    | 6  |
|      |    | 陸上競技     | 9    | 0  |
|      |    | ソフトテニス   | 6    | 3  |
|      |    | バレーボール   | 5    | 4  |
|      |    | バスケットボール | 6    | 3  |
|      |    | 柔道       | 6    | 0  |
|      |    | 剣道       | 0    | 6  |
| 弓道   | 0  | 6        |      |    |
| 空手道  | 6  | 0        |      |    |
| サッカー | 6  | 0        |      |    |
| ラグビー | 6  | 0        |      |    |
| 硬式野球 | 0  | 6        |      |    |
| 軟式野球 | 6  | 0        |      |    |
| テニス  | 6  | 0        |      |    |
| 48   | 36 | 小計       | 57   | 38 |
| 105  | 高高 | 総合       | 前高   | 74 |

## 人事異動 (平成21年度)

### 退任者・転出者

英語 工藤 正安 下仁田 教頭

英語 柴崎 浩明 沼田 女子

理科 齋藤 敬一 前橋南

数学 上原 弘光 渋川青翠

数学 三浦 昭久 藤岡中央

国語 中野 憲一 太田 女子

地歴 宮川 淳吾 桐生 女子

保健 村田 英之 榛名養護沼田分校

実習助手 久保田 敦子 中央中等

通信制(教頭) 田村 浩一 中央中等 教頭

通信制(国語) 荒木 俊秀 退職

通信制(理科) 小坂橋政隆 松井田

通信制(事務) 大友 恵子 みやま養護

### 新任者

国語 伊藤 信一 前橋 女子

英語 田島 悦男 前橋 女子

地歴 市川 高幸 桐生 女子

理科 萩原 克明 中央

数学 齊藤 利男 渋川

英語 沼野 隆 前橋商業

数学 池水 真孝 富岡東

英語 語 江原 悠一 県知事部局

実習助手 武井 みどり 太田フレックス

通信制(教頭) 武井 正 前橋

通信制(国語) 石村 淳子 前橋東商業

通信制(理科) 戸塚 みどり 大泉

通信制(事務) 谷地田 弘子 高崎北

# 高高同窓会 予算決算報告

| 平成20年度 通常会計決算(平成20年1月1日～平成20年12月31日) |            |            |                |
|--------------------------------------|------------|------------|----------------|
| 収入の部                                 |            |            |                |
| 費目                                   | 平成20年度予算   | 平成20年度実績   | 備考             |
| 前年度からの繰越金                            | 882,099    | 882,099    |                |
| 入会金                                  | 3,100,000  | 3,242,000  | 全日制320名、通信制37名 |
| 維持会費                                 | 6,000,000  | 6,261,260  | 2,114人         |
| 利息                                   | 7,901      | 7,575      |                |
| 雑収入                                  | 10,000     | 460,000    | 百年史会計より繰入ほか    |
| 合計                                   | 10,000,000 | 10,852,934 |                |

| 支出の部  |            |           |                       |
|-------|------------|-----------|-----------------------|
| 費目    | 平成20年度予算   | 平成20年度実績  | 備考                    |
| 会議費   | 1,000,000  | 989,750   | 理事会補助、新年総会準備金ほか       |
| 祝賀費   | 800,000    | 730,824   | 叙勲記念、卒業九箇ほか           |
| 雑別費   | 300,000    | 140,000   | 19年度離任職員              |
| 慶弔費   | 200,000    | 0         |                       |
| 通信印刷費 | 420,000    | 280,384   | 維持会費納入礼状、電話代、郵送料ほか    |
| 旅費    | 100,000    | 100,000   | 東京同窓会出席者旅費            |
| 会報発送費 | 2,000,000  | 1,655,438 |                       |
| 同窓会報費 | 1,000,000  | 997,828   |                       |
| 事務費   | 1,500,000  | 1,291,010 | 事務職員人件費、事務用品ほか        |
| 同窓会長費 | 200,000    | 117,196   | 賞状、記念品                |
| 補助費   | 1,100,000  | 1,100,000 | 図書館、早稲田体育会、ヒューマンサイエンス |
| 環境整備費 | 500,000    | 231,000   | 指月庭維持管理費ほか            |
| 雑費    | 300,000    | 240,345   | 維持会費振込手数料、維持会費戻しほか    |
| 予備費   | 580,000    | 0         |                       |
| 合計    | 10,000,000 | 7,873,775 |                       |

差引残高 2,979,159円 (特別会計積立 200万円 次年度繰越金979,159円)

## 特別会計積立

| 収入の部         |            | 支出の部 |             |
|--------------|------------|------|-------------|
| 前年度からの繰越金    | 17,126,965 |      |             |
| 平成19年度通常会計より | 3,000,000  |      |             |
| 利息           | 19,125     |      |             |
| 合計           | 20,146,090 |      |             |
|              |            | なし   |             |
|              |            | 差引残高 | 20,146,090円 |

| 平成21年度 通常会計予算案(平成21年1月1日～平成21年12月31日) |            |            |         |    |
|---------------------------------------|------------|------------|---------|----|
| 収入の部                                  |            |            |         |    |
| 費目                                    | 平成21年度予算案  | 前年度予算      | 増△減     | 備考 |
| 前年度からの繰越金                             | 979,159    | 882,099    | 97,060  |    |
| 入会金                                   | 3,100,000  | 3,100,000  | 0       |    |
| 維持会費                                  | 6,000,000  | 6,000,000  | 0       |    |
| 利息                                    | 10,841     | 7,901      | 2,940   |    |
| 雑収入                                   | 10,000     | 10,000     | 0       |    |
| 合計                                    | 10,100,000 | 10,000,000 | 100,000 |    |

| 支出の部  |            |            |         |                   |
|-------|------------|------------|---------|-------------------|
| 費目    | 平成21年度予算   | 前年度予算      | 増△減     | 備考                |
| 会議費   | 1,000,000  | 1,000,000  | 0       | 新年総会準備ほか          |
| 祝賀費   | 800,000    | 800,000    | 0       |                   |
| 雑別費   | 300,000    | 300,000    | 0       |                   |
| 慶弔費   | 200,000    | 200,000    | 0       |                   |
| 通信印刷費 | 420,000    | 420,000    | 0       |                   |
| 旅費    | 100,000    | 100,000    | 0       | 東京同窓会             |
| 会報発送費 | 2,000,000  | 2,000,000  | 0       |                   |
| 同窓会報費 | 1,000,000  | 1,000,000  | 0       |                   |
| 事務費   | 1,500,000  | 1,500,000  | 0       |                   |
| 同窓会長費 | 200,000    | 200,000    | 0       |                   |
| 補助費   | 1,100,000  | 1,100,000  | 0       | 図書館・早稲田ヒューマンサイエンス |
| 環境整備費 | 500,000    | 500,000    | 0       | 指月庭整備             |
| 雑費    | 300,000    | 300,000    | 0       |                   |
| 予備費   | 680,000    | 580,000    | 100,000 |                   |
| 合計    | 10,100,000 | 10,000,000 | 100,000 |                   |

## 特別会計積立

| 収入の部         |            | 支出の部 |    |
|--------------|------------|------|----|
| 費目           | 金額         |      |    |
| 前年度からの繰越金    | 20,146,090 |      | なし |
| 平成20年度通常会計より | 2,000,000  |      |    |
| 利息           | 3,910      |      |    |
| 合計           | 22,150,000 |      |    |

## 第108回高中高高同窓会新年総会のご案内

同窓生の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回の新年総会は、私達79期が担当させていただくこととなりました。心に残る新年総会になることを目標に、諸先輩のご指導、ご助言を仰ぎながら準備を進めております。

懇親会も、楽しい会になるように企画の準備を進めて

おりますのでご期待ください。

同期の方々、先輩後輩の方々お誘い合わせのうえ一人でも

多くの、同窓生の皆様のご出席を心よりお待ちしております。

期日 平成22年1月23日(土) 時間 午後3時より

場所 高崎ビューホテル

会費 5,000円(当番期79期代表 藤田 実)

### 本部より

### 校歌等CD制作完成・販売

“青春の息吹”今に流れる。この度、校歌・応援歌「翠樹」・生徒会の歌、旧校歌(高中)・級会の歌が収録されたCDが完成しました。吹奏楽部、合唱部、マンドリン部の現役とOBが参加して演奏、収録された作品です。多くの同窓生の購入をお願いします。販売は22年1月中旬予定。

#### ○購入方法

①直接購入【同窓会事務局】高崎市八千代町2-4-1 TEL027-320-6024

【同窓会新年総会・東京同窓会総会・藤岡翠樹会総会】

②現金書留による購入・郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上お申し込み下さい。

③振込み送金による購入・郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上下記口座にお振り込み下さい。

【口座名】群馬県立高崎高等学校同窓会 【口座番号】00110-9-17960

●価格 ①の場合1,000円 ②③の場合1,300円 送料共

### 維持会費の納入について

平成22年度の維持会費の納入をお願いいたします。納入については、同封の振込取扱票(加入者名—群馬県立高崎高等学校同窓会)もお使いいただけますが、ATMのご利用をお願いいたします。



同窓の皆様のご多大なるご協力をいただき、会報第43号が発刊できました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。御多忙の中、貴重な原稿やお写真をお寄せくださいまして、まことにありがとうございました。(本部幹事会)

〈維持会費の納入については、なるべくATMをご利用下さい〉